

育成を目指す資質・能力

法やきまりの意義を理解し、自らの義務を果たすことで、よりよい社会をつくろうとする態度を育てる。

ICT活用のポイント

- 生徒の考えを可視化することで議論の活性化を図る。（学びの前後での考えの変化も）
- 生徒の成長を見取る評価資料として活用する。

事例の概要

① クラスの実態を知る

① 生徒は事前に資料「二通の手紙」（出典：私たちの道徳）について読んでおく。

② 佐々木さんの立場で考える

① 導入では、アンケート機能を使い、きまりに対する考え方や普段の行動について共有する。

③ 元さんが学んだことについて話し合う

② きまりを守らず、幼い姉弟を動物園に入場させたことで、姉弟の母親の感謝の手紙と上司からの懲戒処分文書を受け取った元さんを見ていた佐々木さんの心情を考える。

④ 授業を振り返る

③ 共同編集機能を活用し、懲戒処分への賛否を、矢印の線上に表し、それぞれの考えを話し合う。また、「元さんが学んだことは何か」について話し合う。

④ 授業を振り返る。最初に矢印の線上で表した懲戒処分への賛否について再考して表示し直し、授業で考えたことを記入する。

中学校・第3学年・道徳科・主題「きまりを守る」C 遵法精神、公德心②

①【導入でアンケートに回答し、結果を提示】

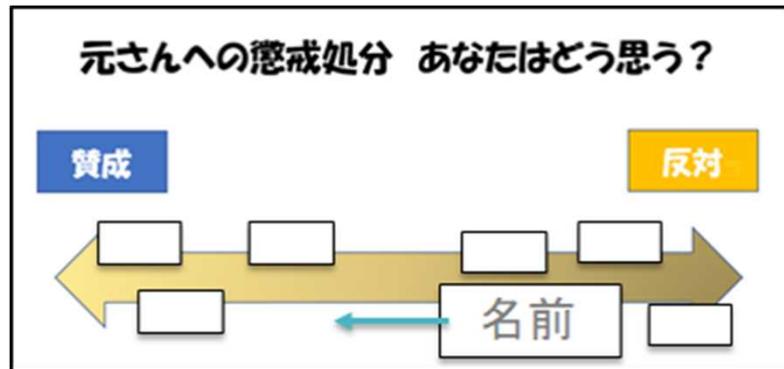


②【自分の立場を明らかにする】

元さんへの懲戒処分 あなたはどう思う？

賛成 反対

名前



ファイルの共同編集を可能な状態にしておけば、テキストボックスで自分の名前を記入し、矢印の線上に表示できる。

① 導入におけるアンケート機能の活用

・これまで授業の前に実施していた事前調査を、アンケート機能を使うことで、授業の中で行うことができる。集計の手間も省け、リアルタイムで結果を提示できる。

② 展開における共同編集機能の活用

・話し合う前に自分の立場を明らかにすることで、話し合いでは他の生徒の考えと自分の考えを比べることができる。また、話し合いを通して、自分の考えを再考することになる。

③ 終末における画面共有機能の活用と保存

・最後の振り返りを入力し、教師が生徒の画面を提示して紹介することができる。

・授業ごとの振り返りを個別にデータで残すことで、ポートフォリオとしての役割を果たし、評価の資料とすることができる。教師も生徒も学期末などに授業の振り返りを見直すことで、生徒自身の学びのあとや成長を感じ取ることができる。

【活用したソフトや機能】 アンケート機能、共同編集機能